

No	性別	年齢	住所	職業	1.フォーラムに関する意見・感想	2.意識調査結果に対する意見・感想	3.福井県におけるエネルギー教育への意見・要望
1	男	20～29歳	福井市	教員 (中学理科)	「学習とは、いかに生きるかの知恵になるもの」という言葉などをはじめ、各パネラーからの提示の数々は色々自分の中で考えさせられたり、新しい発見となるものがいくつもあり、参考となるものだった。今回のフォーラムに参加した大勢の人々もパネラーと討論できたらさらに深まったと思う。	「エネルギー」とは、一体何をさすのかという具体的なイメージをアンケート回答者全員が同じくしていたのだからと思う。「このアンケートで扱うエネルギーとは何のこと？」と自分ならまずはっきりとたずねたくなる。「エネルギー」という言葉の捉え方が各個人で異なる危険あるからだ。総合的な学習の時間の中の一つとして、原子発電エネルギーは面白い素材だと思う。原子力発電エネルギーを総合的な学習の時間の中で扱うようになった時、県内の原子力発電所の支援は欠かせないと思う。	電気エネルギーを生み出すための原子力発電所がこの福井県には多く存在するのだから、これを材料としてエネルギー教育へ足を踏み入れていくことには恵まれていると思う。子どもたちがエネルギーへ目を向けるためのきっかけづくりを用意することが先ずエネルギー教育への第一歩だと思う。子どもだけでなく、自分も含めた大人がもっとエネルギーの知識を身につけていかねばならないと痛感する。
2	男	30～39歳		教員	エネルギーに対する様々な意見が聞けて参考になりよかった。	地域が求めているもの。学校でも報告したいと思います。	
3	男	30～39歳	芦原町	教員 (中学教諭)	どの先生方も色々な角度から考えていらっしゃることがわかった。原子力については賛否両論だが、確かにそのものの技術は素晴らしいものだという事は共感できる。	エネルギーに関しての教育は絶対に必要であると考えている。十分わかっているが現実の中学校(高校もかもしれない)は、時間に追われすぎと考えている。よい、大切なことを行うには、指導者にも生徒にもそれなりに考える時間が必要なのであると考える。	色々なアプローチが考えられる。自分も福井県人の一人として、教員として、先ずもっと知識をしっかりと理解しどのように授業として成り立たすことが効果的なのか考えていきたい。
4	男	40～49歳	丸岡町	教員 (小学校)		何でも学校教育に依存する考えには問題があるが、子どもたちの将来のことを考えると、生活に密着したエネルギー・環境問題をとりあげることも必要であると思う。	原発立地県の福井県としては、将来のエネルギー・環境問題に対する正しい知識を身につけることが重要であると思う。
5	女	40～49歳			各界の意見が聞けて良かった。特にエネルギーとは何か、人類特有のエネルギー etc。		
6	男	40～49歳	福井市	教員	来年度から始まる新学習指導要領で新設される「総合的な学習の時間」の取り組みに対してヒントを数多く得ることができ、大変勉強になりました。		児童・生徒向けの分かりやすいパンフレットがあれば教育の現場では社会科や学活の時間等で指導でき、正しい知識を伝達し正しい理解をさせることが出来ると思う。特にこれからの次代を生きていく児童・生徒にとっては、絶対に必要な教育だと感じています。
7	男	50～59歳	福井市	教員 (中学校)			総合的な学習の時間に関する資料がほしい。
8	男	50～59歳	芦原町	教員	ポイントがはっきりしない。 環境教育の視点で話した方がよかった。	予想できる結果である。	何でも総合的な学習にと言われても困る。本当に必要なことは教育しなければならないと思う。エネルギー教育は環境教育というエリアでしななければならないと思います。各学校に総合で「エネルギー教育」をやれとは言われたい。 教科の中でできるようにして行くと良いと思う。
9	男	50～59歳	朝日町	教員	エネルギーと自分がどう関わっているか、これからどう関わっていけばよいかを学ばせることが大切。	県民の意識はエネルギーについて関心が高いし、エネルギー学習の推進を求めていることがわかりました。	県のエネルギー教育の推進の中心は県民生活部が進めているようですね。副読本というのは県民に配ることになるのでしょうか。
10	男	50～59歳	織田町	教員			
11	女	20～29歳	福井市	学生	エネルギー教育について色々な立場の方からの意見・見解を知ることが出来た。 ディスカッションはやはり原子力中心であり、学校においてどのように教育するか、次の世代にどう伝えていくかが重要であると思った。	エネルギー問題については福井県は原子力発電所が多いから、エネルギー・環境教育を肯定する回答が多くあげられたのではないと思う。原子力発電所については、嶺北と嶺南で回答も違うと思うし考え方も変わるのではないのでしょうか。嶺北の人は同じ福井県でも嶺南の人に比べて原子力に対する考え方が薄いのではないのでしょうか。	実際どのような教育が行われているのかは分かりませんが、教える際に何を教えるか基礎・基本をしっかりとおさえて置くことが大事だと思った。そしてそれを子どもたちにどのようにどこまで教えるか考える必要があると思う。
12	男	30～39歳	武生市	公務員		円グラフの作り方はこれで正しいのか疑問であると思う。文系的な作法かな？	大人に教育した方がいいかな。
13	男	50～59歳	大飯町	公務員	エネルギー教育のあり方について種々議論されたが、ある一つの方向性が見えたのではないと思う	エネルギー・環境問題は今後益々重要に課題となり真剣に考えるべき時代となっている。子どもたちにしっかりとした考え方を持たす必要がある。	エネルギー供給県として県民全体が考えることの出来る情報提供に心がけるべき。

No	性別	年齢	住所	職業	1.フォーラムに関する意見・感想	2.意識調査結果に対する意見・感想	3.福井県におけるエネルギー教育への意見・要望
14	男	40～49歳	福井市	公務員		エネルギー問題、環境問題は非常に厳しいものと思いますが、やはり現状と課題については教育なり学習は必要であり、常に問題意識を持つことが必要だと思います	同上(同左)
15	男	50～59歳	福井市	公務員	5人のパネリストのそれぞれ個性ある発言を興味あった。	地球的課題であるエネルギーのアンケート結果は常識的結果。	中学生くらいになると選択したエネルギー教育を学ぶことも必要。 エネルギー体験学習は当然必要である。
16	男	40～49歳	福井市	地方公務員	テーマが少し難しかったと思う。	児童・生徒のエネルギー体験学習のため地域にある水力・火力原子力発電所などの施設見学をどんどん行えばよいと思う。	社会見学として施設見学をもっと増やすと良いと思う。
17	男	40～49歳	高浜町	地方公務員		福井県に住む人たちにとって原子力を含むエネルギー問題や環境問題に対する関心の高さが伺える。	多くの原子力をかかえる福井県に住む子どもたちに原子力も含めたエネルギーの正確な知識を教えることは当然必要なことであると言える。
18	男	40～49歳	高浜町	地方公務員	エネルギー学習は難しいという固定観念がある。身近な生活からの切り口が大切であると感じた。	原発立地県としてエネルギー問題の学習にもっと力を入れるべきである。	エネルギーの基礎・基本をしっかりと教えるべきである。
19	男	40～49歳	富山市	公務員		総合学習とエネルギー問題とを結びつけるのは難しいと思います。教科の社会科や理科での基礎学習の充実も併せて考える必要があると思います。	福井県は、原子力立地県ではあるが、あまりに強調するよりも「エネルギーの大切さ」「一人一人の省エネルギーの大切さ」を教えることが重要だと思います。エネルギーの大切さが理解されれば原子力への理解へとつながると考えます。 福井県と富山県では県民のエネルギーに対する知識に大きな差があります。福井県にはエネルギー教育の先進県として大いに期待します。
20	女	40～49歳	福井市	PTA		エネルギーについてあまり考えてみたこともなかったが、生きる上での必要性について自然の力だけでなく人工的エネルギーと環境についても子供たちに知ってもらうことが大切になってきているのかもしれない。今の子は今の生活が当たり前になっているが、一つ一つ考え直してゆくことが必要だろう。	(知らなかった)
21	男	30～39歳	県内	会社員	現実的な問題を提示しながらエネルギーの寄与について討議があり我々の職場でも活用できる場所が多くあった。	以外にも学ぶ必要性の賛成が多かったのには驚いたが、現実的には価値観がないところはある。	次代層へのエネルギー寄与は非常に重要であり、今後の大きな課題でもある。見直し必要。
22	男	50～59歳	美浜町	会社員	色々と各人の意見が聞けて参考となった。	結果は「エネルギー教育賛成」と見受けられるが受験勉強の時間を割いても賛成ということになるのだろうか？アンケートの設問に若干の疑問が残る。	教育関係者も含めた討議が必要であり、その成果を学校で実践される仕組みづくりが望まれる。
23	男	30～39歳	美浜町	会社員	色々な見方が聞けて有意義でしたが、もう少し時間があればと思います。	これだけ多くの人がエネルギー問題についての教育が必要と考えているのは以外だった。	まずは科学に興味を持たせるところから入り、その後にエネルギー問題となるよう体系だてたものとなるようお願いします。
24	男	30～39歳	敦賀市	会社員	もっと突っ込んだディスカッションをしてほしいように思いました。	思った以上に「総合的な学習の時間」で原子力等のエネルギー教育を取り入れた方がよいとの結果に少し驚いています。(思った以上に多かった) やっぱり電気、エネルギーは私たちの生活になくてはならないので、小さいうちから現実を正しく教えるべきだと思う。	学年毎にエネルギーの現状を教え、考え、各発電所の施設見学を多めに取り込んでほしい。 ホームルーム等でエネルギーについて話し合いをしていただいては？ 電気がない生活を考える時間を持つては？

No	性別	年齢	住所	職業	1.フォーラムに関する意見・感想	2.意識調査結果に対する意見・感想	3.福井県におけるエネルギー教育への意見・要望
25	女	20～29歳	敦賀市	会社員	教育を受ける側が興味がないと身に付かない。これはもっともだと思います。このフォーラムを聞いている学校の先生方の今後の教育への取り組みに期待します。		子供が興味を持つような科学実験教室等を取り入れ科学に触れる機会を増やしていったらよいのではないのでしょうか。福井県は原子力発電所が多く、電気を作ることにこれだけ貢献している県民がエネルギーについて無知では、電気をたくさん作っているという誇りを持ってもらいたいです。
26	男	60～69歳	敦賀市	会社員	多数の意見ありがとうございました。	時は来ているので、原子力を含めたエネルギー教育を入れるべきである。必要とする時代です。県教育委員会のリーダーシップを期待します。	学校の先生の教育も大切なので次のフォーラムを企画して下さい。
27	男	40～49歳	敦賀市	会社員		学校の先生の指導だけでは不十分。エネルギー関連施設を見学訪問させ生徒自身が勉強していく時代に来ている。	専門家が教室へ出向き、エネルギー他の企業としての取り組みを分かり易く生徒に教える時間を設けていただきたい。
28	女	30～39歳	福井市	会社員	討論の内容が難しかった。(話が専門的)	意識調査等を行うのは良いことだと思う。その中で得られた意見を取り入れてほしい。	学校で教えられることはどんどん教えて行けばよいと思う。その中に施設の見学等も取り入れるとよいと思う。
29	男	50～59歳	敦賀市	会社員	科学教育について非常に興味を持つことができるようになった。業務の参考にしたい。		
30	男	40～49歳	敦賀市	会社員	身近な話題で大変よかった。今後のエネルギー教育の方向性が分かったような気がする。	電力移出県としてエネルギー問題について教育の必要性の数値がもう少し高いと思った。(そう思うの数値)	学校のみでなく家庭、地域社会全体でのトータルな教育が必要である。そのためには、大人のエネルギーに関する理解が必要だと思う。
31	男	70歳以上	大津市	団体役員		福井県特有の傾向問題(社会科教育としてのエネルギー)	社会科授業としてのエネルギーについて、例えば原子力発電所の立地について大人達はどのような理由で反対、賛成するのか。大人達の都合で子供達に説得することを変えるのはだめ。時代は変わっても変わらない「エネルギー保存の法則」「エントロピー増大の法則」を教える。
32	男	30～39歳	福井市	会社員		意識としては必要性を十分認めていると思う。	総合的な学習の時間導入に向けてもっともっと議論を高めていくべき。
33	男	40～49歳	敦賀市	会社員	前々からエネルギーのことを教育してほしいと思っていたが既に行われており問題も多いということ(理解されていない)に驚いた。	特になし	今後ともどんどん推進して下さい。
34	男	50～59歳	福井市	会社員	各パネリストがそれぞれの思いを話ただけに終始した。パネリスト相互の刺激が無いように感じられた佐島先生の思いは我々によく伝わった。	回収率が高い。回答が前向きすぎる。	拙速でなく、一步一步着実に検討している点は評価出来る。他都道府県の動きや総合的な学習の他テーマを意識することなく検討を進めていただきたい。
35	男	30～39歳	大野市	会社員	佐島先生が言われた目的が必要ということであるうエネルギーを教育して何を目的とするのかが分からないとだめ。	学校で子供が学んでも親が知らなければ意味がないのでは。	原子力を推進する等国の政策方針に沿ったような教育でなく、正の面負の面についてすべからく教育個々の判断でどうしていくべきかを考えられる人間を育てるべきである。
36	女	30～39歳	武生市	会社員	参考になりました。	エネルギー教育の必要性を感じている人が沢山いると思いました。	地球環境問題とエネルギー問題は密接に関わっているため、今後エネルギー教育を推進していただきたいと思います。
37	男	60～69歳	福井市	会社員	一人一人の話が長すぎ、枝葉の話が多すぎる等話が展開しない。	民間も積極的に参加する必要がある。子供を持つ親の責任放棄が目立つのでは。	原子力中心に偏ることのない配慮と地域の特性のバランスよく取り入れるようにすべきでは。
38	女	20～29歳	敦賀市	会社員	少し難しい内容の話から身近な話題までいろいろな立場の方から沢山の意見が聞けた。子供達への教育はやはり分かり易さが一番大切だと思う。	エネルギー教育の必要性が、顕著に表れている。早急な学習環境の整備が必要だと思う。	原子力に対する理解を深めていく上でとても重要なことだと思う。
39	男	40～49歳	大野市	会社員	参考になった。	特になし	子供が興味を持つような教育が必要。基本を教えることは大事だが興味を引かれることが必要。家庭教育も大事。
40	男	30～39歳	敦賀市	会社員	話題のレベルを合わせるべきと感じた。「エネルギー」といっても幅が広く先生方の話がかみ合わないそれぞれの先生の内容は理解するが、だからどうすべきかがない。	原子力を含むエネルギー問題について学びたいと考えている意見が多いように思える。しかしながら学べる機会が非常に少なく、興味をそそる物もない。特に学校の先生は原子力反対が多いのでは公平な考えで教育していない。	あまりよく分からないが、学校教育(社会見学等)にてもっと実情を見せるべきだと思う。

No	性別	年齢	住所	職業	1.フォーラムに関する意見・感想	2.意識調査結果に対する意見・感想	3.福井県におけるエネルギー教育への意見・要望
41	男	30～39歳	福井市	会社員	短時間でありまとめが難しかったと思う。学校だけでなく、家庭も含めてまず大人がエネルギーに関心を持つことが重要であり、子供はその大人の姿を見て学んでいくものだと思う。	エネルギー教育の大切さは皆の認めるところであるが、具体的にどう進めていくかが問題である。原子力についてもっと突っ込んだ質問があった方が良かったと思う。	原子力については、安全性ばかりが強調されているが、機械である以上、トラブルや故障は必ずある。問題は重大事故に至るかどうかである。原子力のメリット・デメリットを正しく伝え発電所見学を通じて理解してもらう必要があると思う。特にマスコミは原子力の危険性のみ興味本位で取り上げており、問題である。
42	女	30～39歳	敦賀市	会社員	大変興味深い話で楽しく分かり易かった。	小中学校に少しでもエネルギーの学習を行うことで子供の意識も違おうし、絶対必要だと思います。興味がない、知らないで無関心ですますことは、これからの教育に悪影響だと思います。	福井県は特にエネルギー教育をして頂きたい。
43	男	40～49歳	敦賀市	会社員		エネルギーに対し関心のある方多く感じられた。	「総合的な学習の時間」にエネルギー学習を導入してもらいたい。
44	男	40～49歳	大野市	会社員	有意義でした。	特になし	特になし
45	男	50～59歳	福井市	会社員	全体的にまとまりがないように感じた。基本をしっかり教えることは同感。	エネルギーへの関心がこれほどあるとは思わなかった。	上記調査結果を踏まえ是非実施すべき。
46	男	30～39歳	兵庫	会社員	教育どうあるべきかについて参考になった。		
47	男	40～49歳	敦賀市	会社員	多種多様なご意見を今後のエネルギー教育に反映してほしい。	エネルギー・環境教育の必要性を強く感じる結果となっている。この点からもエネルギー教育を早期に構築してほしい。	同左
48	男	40～49歳	福井市	会社役員	非常に良かった。	予想以上にエネルギー教育に賛成が多く安心した。	原子エネルギーについての教育を！
49	女	20～29歳	大阪府	会社員	最も基本的なことを考えることが大切という意見。正にそのとおりと思う。自分も先ず基本的なことを考えていたが、もっと「何が大切か」を考えていかないといけないと改めて思った。	総合的な学習の時間に環境・エネルギー問題をテーマとして取り上げる必要性は大部分の人が感じていることが分かる。どういう学習をするか、子供達の取り組みをどうサポートしていくか(方向性)を明確にしていくことが大切だと考える。	原子力発電所を立地されている所として、エネルギー教育に困難な点もあるかと思うが、だからこそ正確な教育が必要だと考える。多様な冷静な情報を子どもたちに与え、子供に判断を委ねるのも一つ。他の地域でもエネルギー教育の必要性を感じ、実施しようと考えています。そのような考えの先生方も多い。とにかく前向きに取り組んでいくことが大切だと思う。
50	男	50～59歳	福井市	会社員	先生方の熱意が伝わった。自分の仕事に自信を持っていきたい。	本当かな？建前だけでないかなと感じた。	やはり原子力について本音で教えてほしい。専門家が沢山いるのでうまく利用してほしい。
51	男	50～59歳	福井市	会社員	原子力についての意見交換がほとんどなく、つまらなかった。		吉川氏がいていた県庁内3課共同の教育プロジェクトがあってもいいような気がする。
52	男	40～49歳	敦賀市	会社員	エネルギー全般が国策として必要と思われることが生徒に教えられる教育体系をどうすべきかを聞いたかった。	原子力立地県であるためこのような結果が出たと思うが、全国にエネルギー学習の必要性を広め、福井県のエネルギー政策に貢献していることをもっとPRしたほうがよいのでは。	同左
53	男	30～39歳	敦賀市	会社員	時代に流されることなく原理原則を教えるという点についてまさにその通りだと思う。	男女の差があると思うが、調査者が少ない。	子供のための教育というより社会を維持するためという印象が強い。教育の原則に立ち返るべき。エネルギー教育以前にシつけが必要。勉強は日々の努力で楽しいものでもない。それに対する姿勢・気持ちを持ち続ける力が必要。考える基本が身に付けば子供自身が成長力で育っていくと思う。
54	男	40～49歳	敦賀市	会社員	エネルギーの議論をする前提として、エネルギーの基本知識が要求されるのでその教育が必要。	学校のエネルギー教育は、これまで行われてなかったが、総合学習の中で体系的に実施すべき。	福井には原発があるが、これは国の政策とも密接に関係したものである。このため原発も含めたエネルギー教育が必要である。

No	性別	年齢	住所	職業	1.フォーラムに関する意見・感想	2.意識調査結果に対する意見・感想	3.福井県におけるエネルギー教育への意見・要望
55	男	30～39歳	敦賀市	会社員	佐島先生のいっていた「学社融合」が推進・反対を越えたところかと思う。是非そのようなところが中心となり、エネルギーを得るには良いところもあれば絶対に悪いところがあるので、悪いところを越えたところかと思う。是非そのようなところをきちんと把握させておくことが大切かと思う。	「エネルギーの正確な知識」との定義が難しいと思う。原子力に対する教育用資料としてはまとまった資料は国・行政を含め原子力を推進している側が大部分作成しているものであり、反対をしている側の資料はエキセントリックであったり、非常に内容が高度なものとなっている。これを中立的な視野を持って教育するには、推進・反対を越えたところで資料が必要ではないかと思う。	福井県には多種多様な発電施設があり、特に原子力施設では見学に補助ができる所もあり、私も子供の学級授業で使ったことがある。先ず目で見ることが大切であり、その後子供達の自主的な意見で机上教育を考えていくほうが良いかと思う。
56	男	40～49歳	武生市	会社員	様々な観点・立場から各パネラーの明快な意見が聞けて勉強になった。総合的学習の位置づけがやや不明。大きな別の流れとどうリンクするか判らなかった。	環境・エネルギーについての教育へのニーズが大きいこと、机上の学習のみならず県内に実際に立地している発電所を自分の目で見て学習・判断の材料にしたら良い。	エネルギー問題は国民全体、一人一人の問題である。特に福井県は大生産地であり日常的话题も多い。政治的、地域経済的にも大きなウエートを占めるものであり、教育の中でその実態を教え一人一人が様々な判断が成人したとき出来るようにすべき。注意すべきは政策・政治を持ち込まないこと。
57	男	40～49歳	敦賀市	会社員	学校教育の中で自然にエネルギーについて学ぶことができる環境を作ることが大切ですが、日教組を含めた学校の先生の方を何とかしないと教材は良い物があっても子供達には伝わらない。この点は今後どうしていくのでしょうか。大きな課題と思うのですが。		
58	男	40～49歳	敦賀市	会社員	「時代が変わっても変わらない原理・原則等最も基本的なことを子供に教えることが大事(子供が考える能力をつけること)」という意見に基本的に賛成。先ず基本的なことを教え、そして現状を教え、将来のことは各自に考えさせることが大事ではと思う。	結果を受け、小中学校等における積極的なエネルギー教育実現に向けた活動に期待する。	賛成・反対どちらでもないにかかわらず、原子力発電所が15基運転をしている福井県にあって、原子力を始めとしてエネルギー教育を県民に対して行うことは当然必要だと考える。エネルギー教育の日本のパイオニア的存在になって日本のモデル県として確固たる地位を築いていただきたい。又、生徒の方への教育も重要だが、教師の方への情報提供を行い、正しい知識を付与していくことも大事であるとする。
59	男	40～49歳	大阪	会社員		エネルギー問題、エネルギーの知識(原子力を含む)を学ぶべきとする人が8割以上を越えており、非常に心強い。国家の将来を担う食糧問題、エネルギー問題は国民の身近な問題として国民一人一人が自分の意見を持てるようしっかり勉強していくべきである。	同県は他府県に比して原子力発電所が存在していることからエネルギー問題は比較的身近なものと捉えているのではないかと、県民が正しいエネルギー知識を持てるようどんどん進めていくべき。
60	女	70歳以上	福井市	エネの会代表	基本的な要素をお聞きし同感です。	今後の学習講座に活かしたいと思います。	私たちはエネアドバイザー養成を受け先日小中向けの紙芝居を作成しました。小中学校へ出かけてともに学習したいと思います。
61	男	60～69歳	鯖江市	無職	まあまあ	やはりエネルギーは大切だ。	若狭のエネルギーのところ、道がわかりにくい。が、あの辺の子どもたちは勉強になってよい。
62	男	30～39歳	武生市		エネルギー教育とは何ぞやという部分が見えてこない。エネルギー教育とはエネルギーの機能、発生過程、特性等のエネルギーそのものの教育(理学的教育)、エネルギーの現在の日本の状況(需要と供給)、あるべき姿等取り巻く環境に対する教育(社会的教育)の二面性があると思う。国・県が議論している教育とは後者の方と考える。今回のフォーラムは若干前者に偏ったものでは？		どうしても「福井県における」という前置きでは、原子力(プルサーマル、高速増殖炉)に対する是非の意見形成ができるレベルへという点はさけて通れない。どちらかに偏ったものではない形での情報提供、教育が行われることを望む。
63	女	20～29歳	敦賀市		子供達への教育について、興味を持たなければ難しいというが、興味を持たせてあげられるようにする人たちを増やした方がよいと思う。	エネルギー問題、生活環境問題に興味のある人が多く、理解している人も半数を越えていることはよいと思うので、もう少し知識を高められる術があるといいと思う。	原子力発電所立地県なので、原子力を含めたエネルギー教育はこれから進めていった方がよいと思う。

No	性別	年齢	住所	職業	1.フォーラムに関する意見・感想	2.意識調査結果に対する意見・感想	3.福井県におけるエネルギー教育への意見・要望
64	女	20～29歳	敦賀市		現在の教育は、基礎を飛び越して深い所のみを教えられていると思う。実際「エネルギー」という単語一つをとっても、いったい何人の子供が正確に正しい意味を知識として持っているのかと疑問に思った。	80%以上の方がエネルギーについての学習を必要としていることがわかる。原子力施設を見学することも大切だと思った。80%の方が必要だと思っているのだから、一方的に教師が語るのではなく、目で見たり自分たちで調べたりという時間を大切にしていってほしいと思う。	福井県には15基も発電所があり特にエネルギーの勉強は重要だと思う。これから先、社会をおくらなければならない児童・学生達に基礎から正しい知識を教えてほしいと思う。
65	男	30～39歳	敦賀		良い		
66	女	40～49歳	美浜町		基本が重要というお話や子供の興味を見つけることで学習に結びつけることが必要という内容は確かに必要だと感じました。		最も基本を教えるプラス経験(体験)を通じての概念も必要という今日のお話が生きるような教育を望みます。
67	女	30～39歳	美浜町		難しい内容ではありましたが、先生方の意見を聞いて大変勉強になりました。エネルギーは私たちの生活には欠かせないものですね。	学校でのエネルギー教育は大変重要であるとともに家庭での身近なところでのエネルギーに関する話し合いはとても必要であると思います。	原子力発電所立地県でありながらまだまだ原子力エネルギーについての正しい教育、知識を身につけていないように感じます。
68	男	40～49歳			原子力にやや偏っていたのではないかと。	妥当な答えではないか。	今後の発展、特に原子力立地の嶺南地方での拡大を望む。
69	女	20～29歳			テーマから離れたり近づいたり何とも言えません。教育問題は普段ふれあわない分野なので難しかったです。時間が迫って進行が走ると出る質問も出ず、会場からの質問は出てほしい所だと思います。	とりえず色も付いていて見やすさはばっちりだと思います。調査の中で「総合的な」にエネルギー学習を行うことについてのアンケートで「学校や教師の判断に」が1/4位あるのですが、この部分から今一般の人々が教師・学校に求める大きさを実感しました。これじゃだめだ大人達。というのではなく、もう、こういう社会になってしまっているのなんか悲しく思います。ところで、子供さんお持ちの50歳未満の男女より子供さんが何年生かがよいのではないのでしょうか。	自分は教育関係については深く考える機会があまりなくてうまく言えないのですが、福井県に生まれ育っている子どもたちが自分の地域に関わりの深い原子力を知らないのは良くないかと思えます。私も生まれた土地には原発があったのですが、先生(学校の)は別にそんなことは教えていなくてたまたま親に聞いて教えられたくらいでした。いまだに、原子力 核 良くないものというようなイメージがあってエネルギー源だという印象は大変薄いです。子供達が興味を持ちにくいテーマだと思います。やはり身近なこと(食べること等)から入って行って2回くらい授業を続けてから原発、みたいな方がよいのではないのでしょうか。いずれにしろ、どう話を絞るかは大変難しいと思います。今この短時間では解決案が思いつきません。
70	男	50～59歳			各パネラーの思い、取り組み発表に終わり、ディスカッションの場が少なかった。	この資料は、総論的一部分なので判断しかねる。	エネルギー = 電気と論されるがエネルギーは種類ある。偏ったものにならない内容が必要と思う。
71	男	50～59歳			ディスカッションの視点がもっと焦点化されていた方が良かったと思う。	エネルギー教育を学校教育で行うことはある程度必要だと思うが全面的に期待してはいけない。	十分に行われているとは思われない。成人を対象にしたフォーラムを多くの会場で行うことが大切だ。
72	男	50～59歳				遅い。今頃こういう調査をしているようでは、エネルギー生産県として当局の怠慢である。	もっと積極的に実施すべきである。日本のエネルギーを考えると自信と誇りをもって、いつまでも「地域振興」ばかりいつまでも後進県である。いつになったら「田舎」から抜け出せるのか。変革のトップランナーがいないのか。
73	女	20～29歳			最後のコーディネーターの話が一番最前だと思った		学校に任せない。エネルギー教育者が出入りをした方が良い。